

## 高等学校情報科「情報Ⅱ」教員研修用教材 正誤表

日付	該当箇所	該当ページ	(正)	(誤)	備考
令和3年7月	教材本編第4章P219	第4章本文pdfファイルP41	10名の10点満点の成績について、平均と中央値、最大値を表示するロジックを作成しました。しかし、統計モジュールの <b>計算結果と比較</b> したところ値が異なることがわかりました。元のプログラムのエラー箇所(誤り)を特定するためには、どのように絞り込めばよいでしょうか。	10名の10点満点の成績について、平均と中央値、最大値を表示するロジックを作成しました。しかし、統計モジュールで確認したところ値が異なります。元のプログラムのエラー箇所を特定するためには、どのように絞り込めばよいでしょうか。	
令和3年7月	教材本編第4章P219	第4章本文pdfファイルP41	<pre> 9行目 def def_median(ary): 10行目     n=len(ary) 11行目     index1=int(n/2) 12行目     if n%2==0: 13行目         index2=index1+1 # index2=index1-1 の間違い 14行目     else: 15行目         index2=index1 16行目     return (ary[index1]+ary[index2])/2 </pre>	<pre> 9行目 def def_median(ary): 10行目     n=len(ary) 11行目     index1=int(n/2) # index1=int(n/2)-1 の間違い 12行目     if n%2==0: 13行目         index2=index1+1 14行目     else: 15行目         index2=index1 16行目     return (ary[index1]+ary[index2])/2 </pre>	
令和3年7月	解説編第4章解説 学習23	第4章解説pdfファイルP7 学習23	(def_median) 「return (ary[index1] + ary[index2]) / 2」なので、ary[index1]とary[index2]がどのような値を持たなければならないかを考え、実際の値を確認する。出力してみると、 <b>リストの要素が奇数個の場合は正しいが、偶数個の場合は本来の中間ではなく、1つだけ大きい方へずれている</b> ことがわかる。そこから index1とindex2 が想定より1つずつ右にずれていることと、リストが0番目からカウントしていることから、どこを修正すればよいかを特定する。	(def_median) 「return (ary[index1] + ary[index2]) / 2」なので、ary[index1]とary[index2]がどのような値を持たなければならないかを考え、実際の値を確認する。出力してみると、本来の中間ではなく、1つだけ大きい方へずれていることがわかる。そこから index1とindex2 が想定より1つずつ右にずれていることと、リストが0番目からカウントしていることから、どこを修正すればよいかを特定する。	
令和3年8月	解説編第3章解説 学習15	第3章解説pdfファイルP3 学習15	CPを0.028にした場合の分類木を出力する。 <pre> titanic.ct2&lt;-rpart(Survived~.,data=titanic.data, method="class",cp=0.028) plot(as.party(titanic.ct2)) </pre>	CPを0.028にした場合の分類木を出力する。 <pre> titanic.ct2&lt;-rpart(Survived~.,data=titanic.data, method="class",CP=0.028) plot(as.party(titanic.ct2)) </pre>	